



静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第21回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

●調査時期／2026年5月 ●回答者総数／1213名(男614名、女599名) ●調査方法／インターネット調査

静岡県内在住の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。

2016年5月の初回以来、年2回定期的に実施している。第21回調査は2026年5月に実施された。

■性別

男性	女性
614	599
50.6%	49.4%

■年齢

20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
53	160	273	452	275
4.4%	13.2%	22.5%	37.3%	22.7%

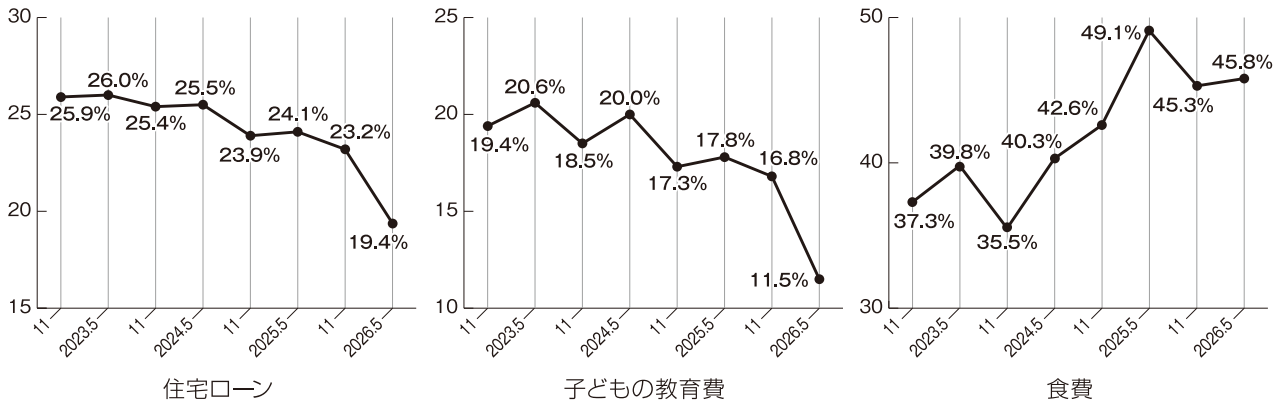
■雇用形態

正規社員	非正規社員
629	584
51.9%	48.1%

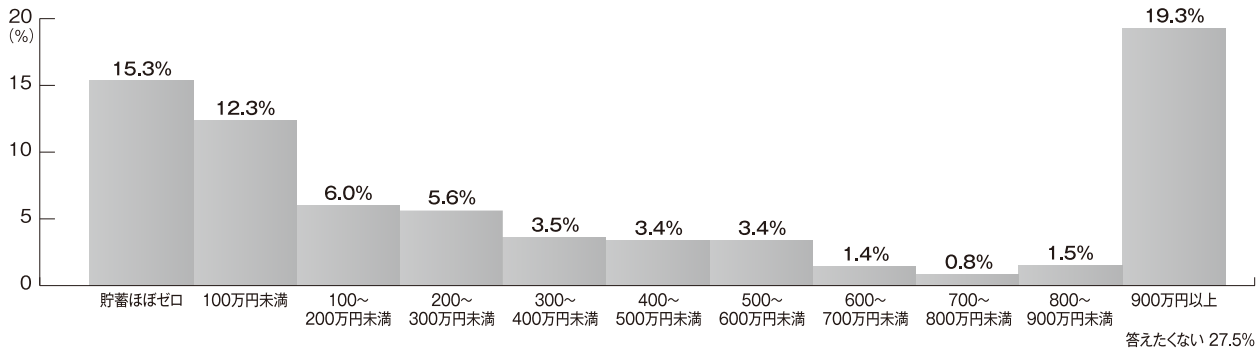
■あなたが現在思う「将来の不安」としてあてはまるもの(複数回答／3つまで)／年代別

	仕事 (自分、配偶者)	子どもの 将来	家族の将来	自分の結婚	住宅	ローン返済 (住宅・就学金 その他)	親や配偶者の 介護	老後の生活	健康 (自分、家族等)	その他	特になし	総計
全体	349 28.8%	201 16.6%	169 13.9%	52 4.3%	69 5.7%	119 9.8%	335 27.6%	661 54.5%	534 44.0%	6 0.5%	130 10.7%	2625 216.4%
20歳代	23 43.4%	11 20.8%	10 18.9%	10 18.9%	4 7.5%	7 13.2%	7 13.2%	10 18.9%	16 30.2%	0 0.0%	9 17.0%	107 201.9%
30歳代	59 36.9%	32 20.0%	28 17.5%	20 12.5%	11 6.9%	20 12.5%	47 29.4%	67 41.9%	50 31.3%	1 0.6%	17 10.6%	352 220.0%
40歳代	71 26.0%	64 21.2%	44 14.6%	13 4.3%	19 6.3%	31 10.3%	85 28.1%	139 46.0%	106 35.1%	1 0.3%	30 9.9%	603 199.7%
50歳代	133 29.4%	67 15.1%	59 13.3%	7 1.6%	22 5.0%	47 10.6%	131 29.6%	262 59.1%	202 45.6%	4 0.9%	49 11.1%	983 221.9%
60歳以上	63 22.9%	27 12.1%	28 12.5%	2 0.9%	13 5.8%	14 6.3%	65 29.0%	183 81.7%	160 71.4%	0 0.0%	25 11.2%	580 258.9%

■現在あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの(複数回答・一部抜粋版)



■貯蓄額



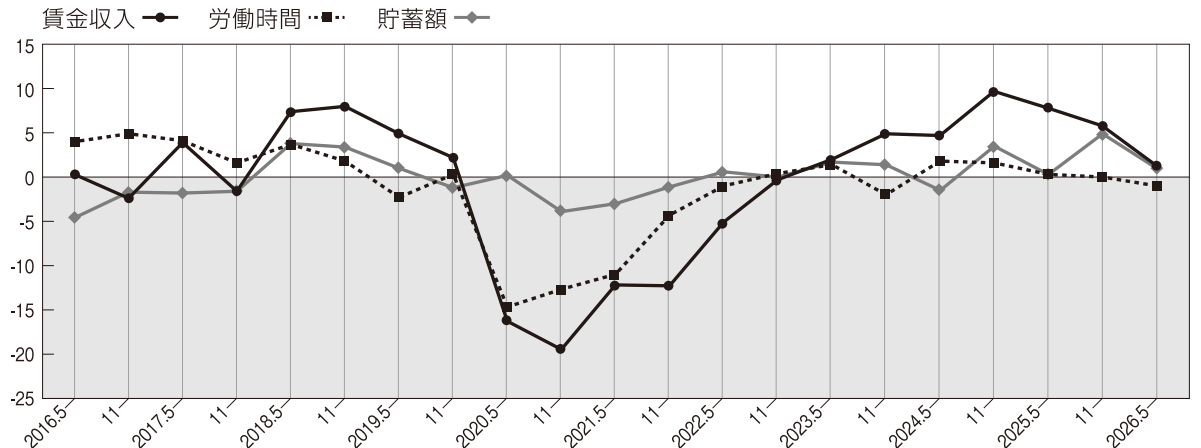
■勤労者DI-Diffusion Index 選択比率の差から動向を把握するための指標

「賃金収入」「貯蓄額」：1年前と比べて「増えた」「変わらない」「減った」

「労働時間」：1年前と比べて「長くなった」「変わらない」「短くなった」

「暮らし」(現在)：「余裕がある」「普通」「厳しい」

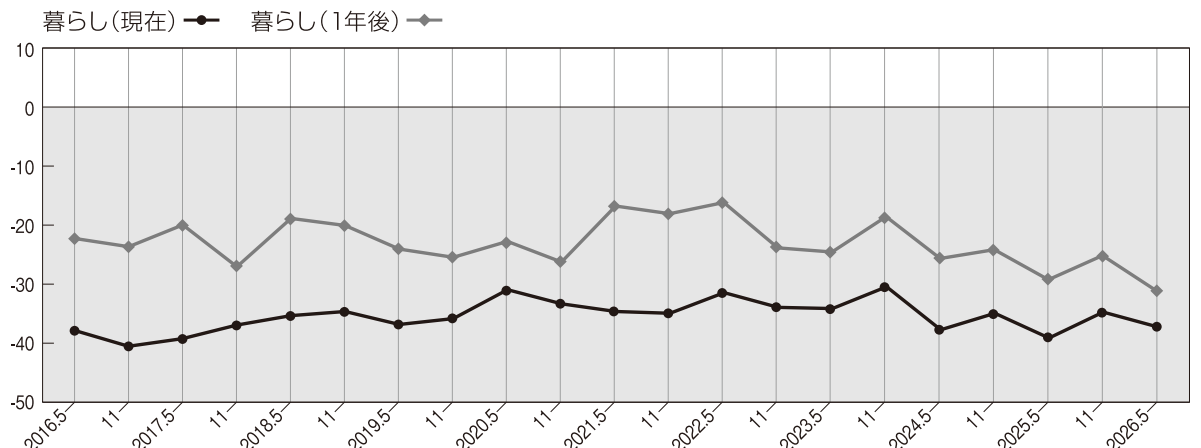
「暮らし」(1年後)：「ゆとりがでる」「変わらない」「苦しくなる」「わからない」



★注目ポイント

前回(2024.11)から 今回(2025.5)DI値の変化

●賃金収入 +5.8→+1.3(△4.5) ●労働時間 0.0→△1.0(△1.0) ●貯蓄額 +4.9→+1.0(△3.9)



★注目ポイント

前回(2024.11)から 今回(2025.5)DI値の変化

●暮らし(現在) △34.8→△37.3(△2.5) ●暮らし(1年後) △25.2→△31.2(△6.0)

今回調査の注目ポイント

- DI値 賃金収入・貯蓄額ともにDI値が減少、労働時間はマイナス(短縮傾向)、「暮らし」は「現在」「1年後」とともに下降傾向
DI値の推移をみると、賃金収入は前回調査(2025年11月)の+5.8から+1.3へ△4.5の減少、労働時間も+0.0から△0.9へ△0.9の減少となった。「賃金収入」と「労働時間」は、2024年11月から3回連続の減少である。
暮らし(現在)は前回の△34.8から△37.3へ△2.5の下降、暮らし(1年後)も前回の△25.2から△31.2へ△6.0の下降となった。賃金水準の増加傾向が鈍化し、物価上昇の影響を受けて、暮らし向きについての認識が厳しくなりつつあると思われる。
- 家計支出における「住宅ローン」「教育費」が大幅な減少を示す。
「家計支出で「大きな負担」と感じているもの」について、「住宅ローン」「子どもの教育費」は両項目とも2016年5月の調査開始以来、最大の減少幅となった。賃上げ傾向の一定の定着及び高校授業料無償化などが負担感の減少に繋がった可能性がある。
「食費」に関しては、前回は45.3%と前々回から下降していたが、今回は45.8%と若干の上昇となり、依然として40%半ばの「高止まり状態」となっている。2026年6月からは1078品目の食品の値上げもあり、現在の状態は今後もしばらくは続くことが見込まれる。
- 現在思う「将来の不安」～20歳代は「仕事」、全体では「老後」がトップ
あなたが現在思う「将来の不安」について、全体では「老後の生活」が54.5%と依然として高い。年代別にみると、20歳代では「仕事(43.4%)」が最も高く、次いで「健康(30.2%)」「子どもの将来(20.8%)」と続く。
「親や配偶者の介護」の項目では、30歳代～60歳以上で3割近くが不安を感じ、20歳代でも13.2%の人が不安を抱えているという結果となった。